環境にやさしい事業活動

令和7年2月 環境局脱炭素社会推進課

地球温暖化による気候変動

世界の平均気温は2024年時点で、産業革命前と比べ、既に1.6℃上昇したことが示されています。

世界的な豪雨、熱波、干ばつ、海面上昇などが顕在化しており、経済や社会活動に様々な影響を及ぼしています。

豪雨

出典:令和2年版環境·循環型社会·生物多様性白書

干ばつ



出典:全国地球温暖化防止活動推進センター

森林火災

出典:令和2年版環境·循環型社会·生物多様性白書

農作物の品質低下



出典:農林水産省 平成26年地球温暖化影響調査レポート(2015)

地球温暖化に対する世界の動き

- 2015年12月:**パリ協定**(COP21で採択)
 - ・産業革命前からの平均気温上昇を2℃未満、

できれば1.5℃に抑える努力を追求

- ・人為的な温室効果ガス排出量を今世紀後半に実質ゼロ
- 2018年10月:**1.5℃特別報告書**(IPCCとりまとめ)
 - ・2052年までの気温上昇を1.5℃に抑えるために、 カーボンニュートラルが必要
- 2021年11月: **グラスゴー気候合意**(COP26で採択)
 - ・産業革命前からの平均気温上昇を1.5℃以内に抑える努力を追求

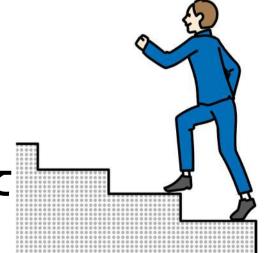
世界的にカーボンニュートラルを目指す流れ



地球温暖化に対する日本の動き

- ●2020年10月:菅首相所信表明演説で
 - ・2050年までに温室効果ガス排出の排出を全体としてゼロにする カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言
- 2021年6月:改正地球温暖化対策推進法の公布
 - ・「**2050年までの脱炭素社会の実現**」を基本理念として法定化
- ●2021年10月:地球温暖化対策計画の改定
 - ・2030年度温室効果ガス46%削減(2013年度比) さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。

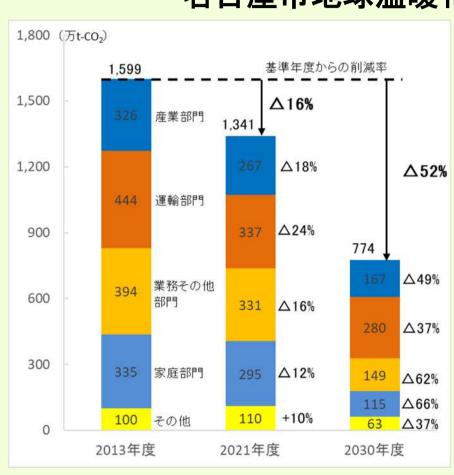
国も2050年カーボンニュートラルを目指して 取り組みを進める



名古屋市における温室効果ガス排出量の現状と目標

脱炭素社会の実現に向けた国の動向を踏まえ、本市においてもさらなる地球温暖化対策を推進するため、実行計画を策定(2024年3月)。

名古屋市地球温暖化対策実行計画2030



〇2050年に目指す姿

2050年カーボンニュートラルの 実現にチャレンジ

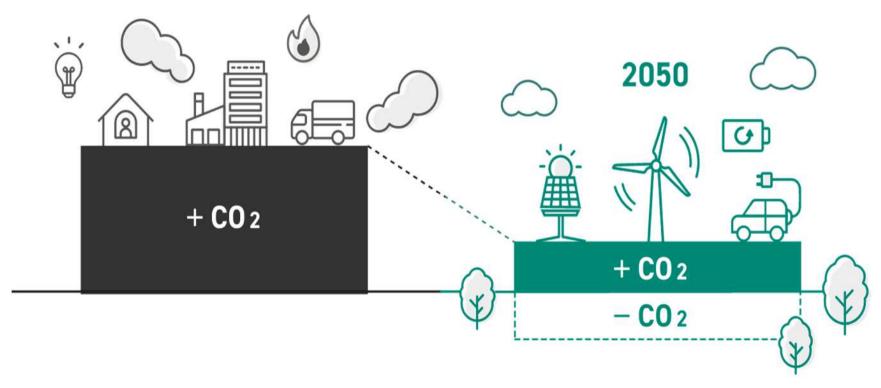
〇2030年に向けた方向性

温室効果ガス排出量削減目標 2030年度 △52%(2013年度比)

再生可能エネルギー (太陽光発電)導入目標 2030年度 **49万kW**

カーボンニュートラルとは

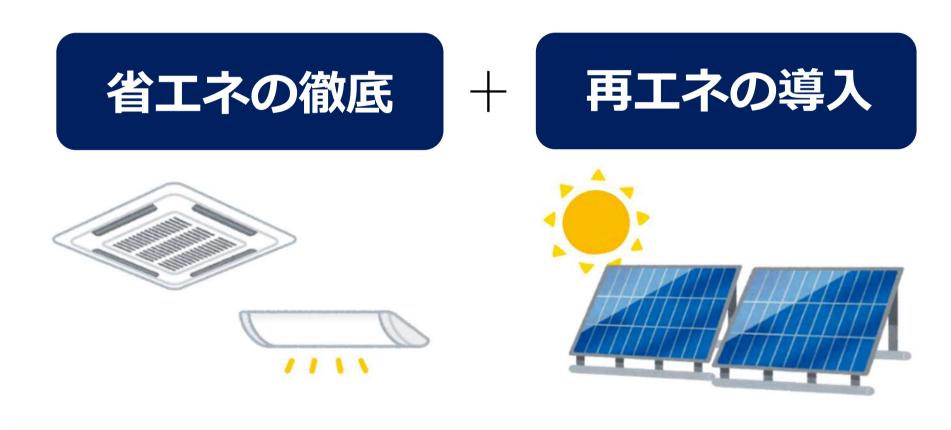
カーボンニュートラルとは、CO2をはじめとする温室効果ガスの 「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、 合計を**実質的にゼロ**にすることを意味します。



出典:環境省「脱炭素ポータル」

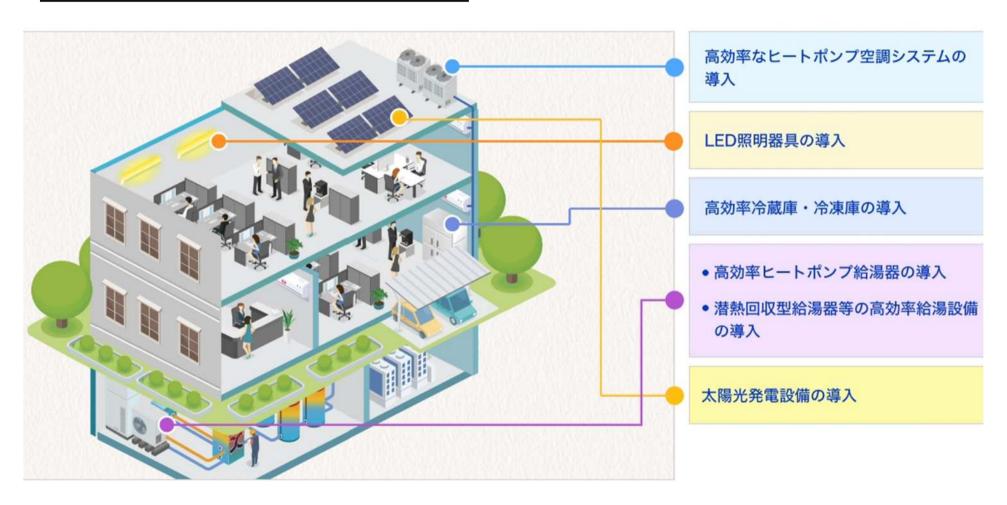
事業者の皆様にお願いしたいこと

カーボンニュートラルの実現に向け、
事業者の皆様の取り組みが非常に重要



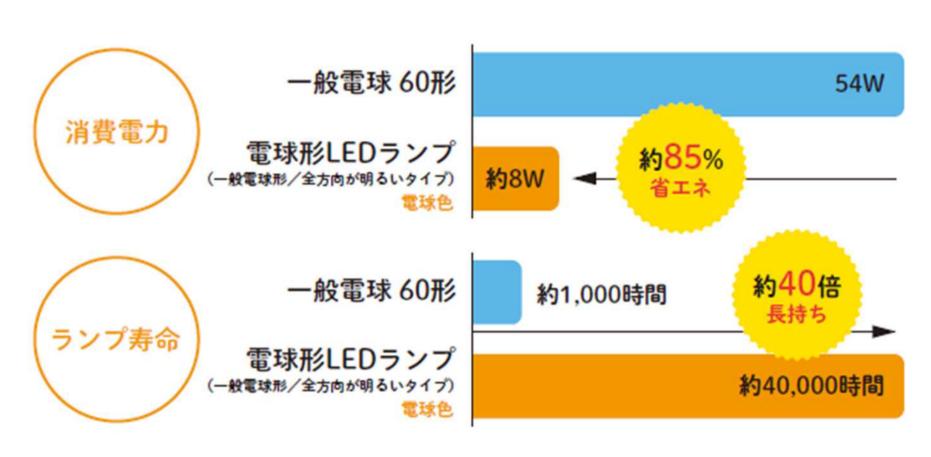
省エネ活動の一例

CO2削減効果が高い対策



出典:温室効果ガス排出削減等指針(環境省)

LED照明への更新



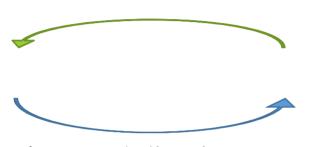
出典:あかり未来計画(環境省)

PPAモデル(0円ソーラー)

PPA事業者の費用負担で 太陽光発電設備を設置・維持管理



太陽光発電設備の導入を 希望する事業者



毎月の電気代の支払い (契約期間10~20年)



メリット







電気代がお得になる(※)



停電時も電気が使える(※)



(※)設置・契約条件等により異なる場合があります

再工ネ電気プランの選択

電気の契約を切り替えるだけで 再生可能エネルギーを利用できる





出典:再エネスタート(環境省)

活動方針を決めましょう

活動方針を決めて表明する

全社員の役割を決める

\ 経営者自らがメッセージを発信 /







「なごや省工ネ相談」をご活用ください



ウェブサイトは こちら





ご清聴ありがとうございました

